

平成 30 年度 安全大会

社長からのあいさつ

皆様には日頃よりなにかとお世話になり、また、弊社現場での安全作業にご尽力してくださり、誠にありがとうございます。さて、恒例の安全大会ですが、お互いに業務多忙の中貴重なお時間を割いて頂くのも恐縮いたしますので、今回から本紙内容をネット及びメール配信させて頂く形をとりましたのでご理解の程よろしくお願ひいたします。



まずはこの一年間大きな事故もなく順調に各現場を進めてこれたのも皆さんの安全意識の高さの賜物であると深く感謝いたしております。しかし、一方で軽微な事故は結構起きているのも事実です。ハインリッヒの法則にもあるとおり軽微な事故の30件目には重大な事故になる可能性を秘めていますので怪我がなかったからやれやれと見過ごすこともできません。軽微な事故の原因はだいたいが基本動作の不注意やうっかりミスが多く、一人一人の意識によって防げるものがほとんどです。そういう行動を「不安全行動」といいますが、皆さんにはもっと「不安全行動」に対して敏感になってほしいのです。私が常日頃口にしている「危険ゼロ」の実現は、本人やその家族のためであり、会社のため、そして最後にはお客様の夢の実現のためでもあるのです。

今年は「江戸」が「東京」に変わってちょうど150年目。その大きな節目の年に私達中央建設もいよいよ本拠地を「東京」に変えて新たなスタートを切ります。そして「みんなで実現！危険ゼロ！」のスローガンのもと働き方改革にも積極的に力を入れ、人を大切に仕事と生活の調和を図り、快適な環境を整えることで職場現場の「危険ゼロ」を達成すべく取り組んでまいります。しかし、「危険ゼロ」の実現は、皆様のご協力なしではありえません。この大会を契機に本日よりまた一年間、安全最優先での作業をよろしくお願い申し上げます。

東京は早くも梅雨明けしたようでこれから本格的に厳しい暑さが増えてきますので熱中症にはくれぐれもお気をつけください。今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

平成 30 年 7 月 4 日

中央建設株式会社 代表取締役 渡部功治